

報道関係各位

ジャパンインターナショナルボートショー2014 終了のご報告

■会期：3月6日(木)～9日(日)

■会場：パシフィコ横浜、横浜ベイサイドマリーナ(神奈川県横浜市)

一般社団法人日本マリン事業協会は、2014年3月6日(木)から9日(日)の4日間にわたり、パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナ(ともに神奈川県横浜市)を会場として『ジャパンインターナショナルボートショー2014』を開催し、成功裏に終了させていただいたことをご報告申し上げます。

このボートショーは2014年のニューモデルを始め、ボート、ヨット、水上オートバイ等202隻を展示・販売するほか、ボート免許やマリーナ等マリンレジャーの最新情報を集約した総合マリンレジャーショーで、第53回を迎えた今回は4日間を通じて35,439名が来場しました。

第1会場ではボートやマリンエンジン、PWC*などの製品展示を中心に、「プレミアム・マリン・ライフスタイル・ゾーン」や「PWCワールド」「オリンピック・セーリング競技応援プロジェクト」など、マリンに関するさまざまなテーマゾーンとステージでのトークショーで、マリンレジャーの楽しさをアピールしました。

また、第2会場では、マリーナという立地を生かして全長30フィート以上の中・大型艇44隻を係留展示。体験乗船プログラムは、3月7日(金)から9日(日)の3日間に実施し、ヨットでの「体験!セーリング」、大型ボートでの「東京湾航海講座」、ボート免許実技の教習艇を用いた「体験!ボートライセンス」で合計168名の方が参加。買い物や観光に訪れた方々も立ち止まり見学するなど、晴天のもとでマリンレジャーを満喫しました。

東北復興支援として実施したマリンチャリティオークションには、出展の26社・団体から約40点の商品が提供され、その売り上げ395,000円は、2012年から継続して福島県いわき市小名浜の『みなとまち創造会議』に贈呈しました。

●ご来場者数

日程	来場者数	2014年 来場者数		2013年
	合計	パシフィコ 横浜	横浜ベイサイド マリーナ	
3月6日(木)(晴れ)	5,196名	4,098名	1,098名	5,331名
3月7日(金)(晴れ)	6,115名	4,307名	1,808名	6,587名
3月8日(土)(晴れ)	11,790名	8,245名	3,545名	11,867名
3月9日(日)(晴れ)	12,338名	8,100名	4,238名	14,355名
	35,439名	24,750名	10,689名	38,140名

* Personal Water Craft=水上オートバイ

◆ マリンレジャー関連の出展構成の内訳

◇本体：202 隻（ボート、ヨット、PWC他） ◆マリンエンジン：63 基

カテゴリー	出展者／出展プロダクツ数	
ボート	27 社	62 隻
ヨット	14 社	26 隻
PWC(水上オートバイ)	7 社	35 隻
スモールボート	9 社	34 隻
カヌー、カヤック等	9 社	45 隻
マリンエンジン	12 社	63 基

マリーナ	10 社	
マリン関連	110 社	
行政・海事団体	16 団体	
その他	31 社	
海外からの出展	8 社	5 カ国
【合計】	175 社・団体	

	項目	データ	プロダクツ名など	出展社など
ボート	最大サイズ	24m	アンフィニ 78 ホライゾン	輸入艇
	最小サイズ	2m	J E T 200	ジョイクラフト
	最高価格	2億2千万円	アンフィニ 78 ホライゾン	輸入艇
	最下価格	135 千円	KAYAK340	ジョイクラフト
エンジン	最大馬力	670 馬力 (493kW)	D11-670	ボルボ・ペンタ
	最小馬力	2 馬力 (1.5Kw)	4 社 (スズキ、トーハツ、ホンダ、ヤマハ)	

◆ジャパンインターナショナルボートショー2014（第53回）の様様

●第1会場 パシフィコ横浜



3月6日（木）開会式（パシフィコ横浜）



パシフィコ横浜全景



ヨットコーナー



PWC ワールド



プレミアム・マリン・
ライフスタイル

●第2会場：横浜ベイサイドマリーナ



フローティング展示全景（ボート27隻、ヨット17隻）



横浜ベイサイドマリーナで行われた体験プログラム

※2014年3月14日（金）15時まで

●本件に関するお問い合わせ、画像などご希望の際はこちらへご一報ください●
一般社団法人 日本マリン事業協会 広報分室（ユース・プランニングセンター内）

担当：佐々本（ささもと）、高橋、久保田

TEL：03-3406-3411／E-mail：a-sasamoto@ypcpr.com